

ガーラスキー場と町観光産業は 協調されていますか？



池田 宏

一

般

質

問

町史編纂終了後の資料保管管理について

質問

町史編纂が平成9年9月に始まり8年の歳月をかけていよいよ完結されることは喜びに堪えないところであります。今瞬くうちに変わりに行く社会を迎えている中で過去の歴史を現代が知り、それを後世に伝えていくことは人の社会がもつ卓越した考察知能の文化であり責務であります。昭和53年に4年の歳月をかけて刊行発刊された町誌と共に湯沢町の過去と今を語りついでくれる貴重な財産であります。この度町史編纂に当り使われた資料は民間と官公にわたり膨大で貴重な資料であります。返却する資料やマイクロフィルム等に収めた資料など今後どのようにに保管管理をしていくのか伺います。

町長答弁

膨大で貴重な資料は単に保管管理でなく、その後の利活用も考える上で空調設備のある雪国館2階に収納

します。刊行は17年の秋で町政50周年に間に合います。現在の編纂室は編纂終了後国体の準備室に使います。

三俣の振興対策を早期に着工できないか

質問

清津川ダムが中止になって早くも2年になろうとしています。その間、国は振興対策として国道17号線の改良、新芝原トンネルの開削及び道の駅や河川改修等の対策を打ち出してくれました。この事が一時も早く着工できるような町長は対応していくのか、また県とのワーキングはどのように進んでいるのか伺います。

町長答弁

町は三俣振興対策の早期実現を図るべく28要望を第15回ワーキング部会に提示をしました。以降具体的検討を重ねる中で県から河川改修による背後地整備、道の駅周辺整備、自然災害防止の整備、下水道早期着工等、振興対策について支援

の提案があり、これを受けて事業内容の整備と事業主体の決定がなされ、3月18日に地元の窓口である三俣みらい町作り協議会に説明をする事になりました。

ガーラスキー場と町観光産業は協調しているか

質問

平成2年に開設され昨年度も約30万人の来場者をもつ好営業は喜びとするところであります。しかし当町の観光産業に如何に協調

タイアップしているかが観点であります。町は大地主で役員でもあります。開設当初の始発は3本であったが、現在は11本で本家本元の湯沢駅が2本であります。乗降の少なくなつた東口や駅通りはシャッター通りになら

ぬようにとの声も聞いています。貸付地更新は16年3月であります。如何に対応して行くか伺います。

町長答弁

列車の大多数がガーラ始発になつている。JRの傍系民間ガーラとしては利益追求からやむをえないと思う。貸付料は据え置きます。余りにも不利益を被る時は取締役でもあり町長としてものを申します。



JRガーラ湯沢駅